

年 組 番 名前

教材 1 - A - (1) 古代から中世までの社会の様子

次の（ア）～（コ）の説明はどの時代のものであるかを、【表】の中の①～⑨から選び、番号で答えなさい。

【表】

① <small>じょうもん</small> 縄文	② <small>やよい</small> 弥生	③ <small>こふん</small> 古墳	④ <small>あすか</small> 飛鳥	⑤ <small>なら</small> 奈良	⑥ <small>へいあん</small> 平安	⑦ <small>かまくら</small> 鎌倉	⑧ <small>なんぼくちょう</small> 南北朝	⑨ <small>むろまち</small> 室町
------------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	---------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-----------------------------

【社会の様子】

- (ア) 稲作が伝わると、人々のあいだに貧富の差ができ、支配者も現れた。
- (イ) おおきみ 大王を中心に、大和と周辺の有力な^{ごうぞく}豪族で構成されていたヤマト王権が支配を強めた。
- (ウ) 中・小型の動物と魚や貝、ドングリが重要な食料であり、土器を使用し^{に たき}煮炊きを行う習慣も広まった。
- (エ) 天皇を中心とする国家のしくみを整えようとし、^{かんいじゅうにかい}冠位十二階の制度を定めて、^{せしゅう}世襲ではなく個人の才能によって役人を採用することとした。
- (オ) 天候不順や^{えきびょう}疫病で税を納められず逃亡する農民も増え、人口の増加による^{くぶんてん}口分田の不足もあり、^{こんでんえいねんしざいほう}墾田永年私財法が出された。
- (カ) 商業が活発になり定期市の回数も増え、農村にも貨幣が浸透し、土倉とよばれた^{しちや}質屋のほか、酒屋も高利貸しを営み、都市の近くの農民もこれを利用した。
- (キ) 裏作に麦を作る^{にもうさく}二毛作も始まり、草や木の灰を用いた肥料も普及し始めた。
- (ク) 弓矢や^{きば}騎馬などの武芸に^{すぐ}優れ、朝廷や国司に仕えて警備や護衛にあたる武士があらわれた。
- (ケ) ^{そう}惣と呼ばれる自治組織を形成し、有力者を中心に全員で力を合わせて村を守るようになった。
- (コ) 各地の武士が南朝と北朝とに分かれて戦い、約60年にわたって全国的な^{ないらん}内乱が続いた。

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)

(カ)	(キ)	(ク)	(ケ)	(コ)